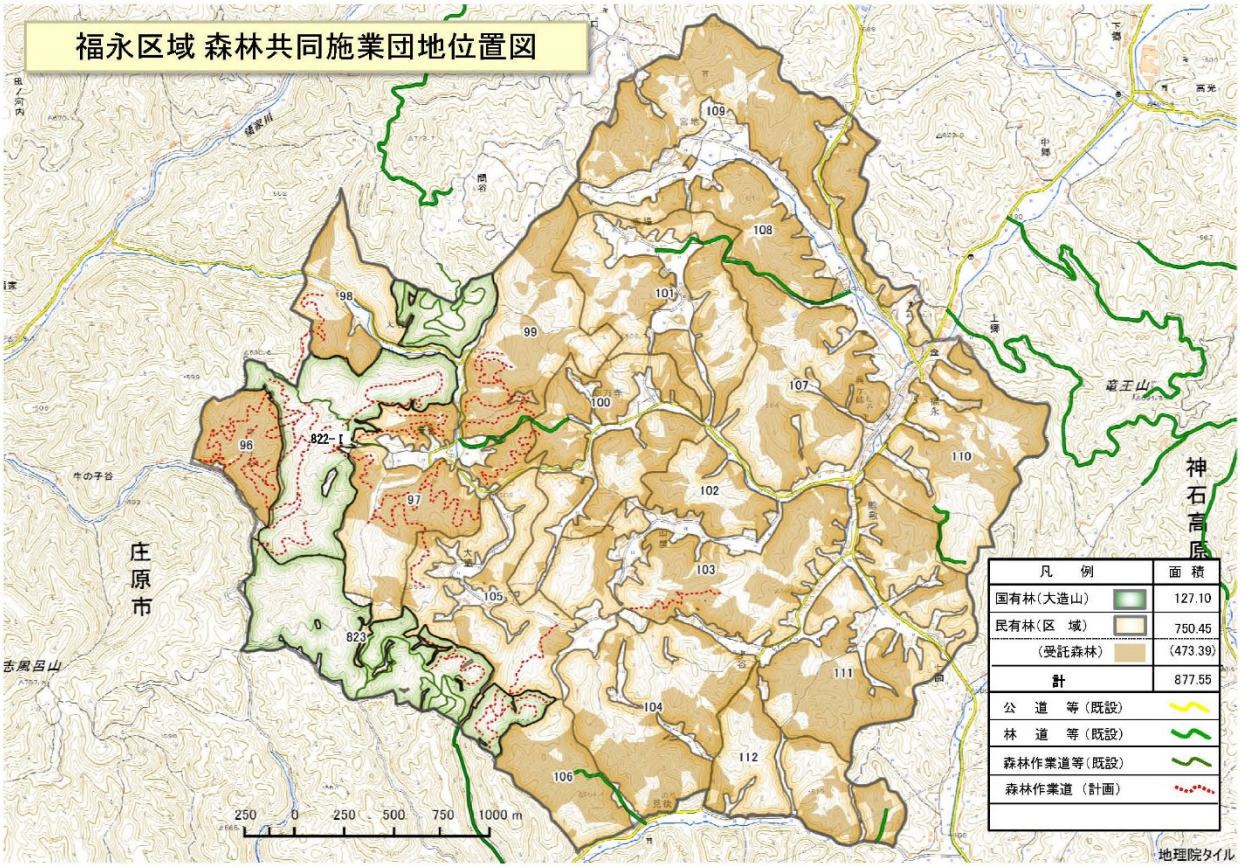
神石高原町地区のケーススタディについて

平成 31 年 4 月 19 日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、国有林に隣接する民有林との協調施業、協調販売(出荷)、一体的な路網整備・利用など民国連携した取組を目指し、平成 28 年度広島県、神石高原町、神石郡森林組合、広島森林管理署及び広島北部森林管理署から構成されるケーススタディ会議を設け、民国連携に向けた課題の整理と、それらの解決に向けた取組を展開しています。

平成 30 年度には、人工林伐採跡地における天然更新についての検討会(H30.10.30)を行ったほか、新たな民国連携候補地の関係者による現地検討会(H30.9.6)を行いました。特に、これまで隣接する民有林内から森林整備により伐採された木材が効率的に搬出できなかった状況であったことを踏まえ、広島北部森林管理署では、国有林内の作業道と民有林内の作業道を連結させることにより、民有林材の効率的な搬出を確保するとともに、国有林の一部を民有林材のストックヤードとして活用させたことにより、搬出コストの低減にも協力・支援することができました。



ケーススタディ地区(福永区域森林整備推進協定箇所)

天然更新現地検討会(H30.1030)

国有林作業道と民有林作業道の連結

隣接する民有林から搬出される民有林材

国有林内の作業道を利用して搬出された民有林材

民有林名	間伐面積	搬出材積	備考
牛ノ子地区	５．８７ha	５２５m3	民有林作業道と連結

今年度、広島北部森林管理署では昨年度に引き続き当該地区において民国連携による様々な取組を展開するとともに、ドローンを活用した地形調査の現地検討会に取り組みます。